

老健 平成29年12月号

Vol.28 No.9

C O N T E N T S

●巻頭言 3

中間施設から地域包括ケア体制の中核施設へ

平井基陽 全老健 顧問、介護老人保健施設鴻池荘 理事長

特集●老健施設の感染症による
アウトブレイク対策 9

概論

感染症は避けられない

行うべきはアウトブレイク（施設内集団感染）対策……………10

施設レポート①

過去3年間で3回のアウトブレイク 「感染症との闘いに終わりはない」…12

天草中央総合病院附属介護老人保健施設（熊本県天草市）

施設レポート②

4年前にインフルエンザの集団感染発生 多職種協働で危機を乗り切る…18

介護老人保健施設弥生ヶ丘（岡山県津山市）

インタビュー

人的被害だけでなく施設の経営上の損害も想定しておくべき……………24

安田大輔 損害保険ジャパン日本興亜株式会社医療・福祉開発部第二課 課長代理

田邊智範 株式会社全老健共済会事業部事業課 課長

「介護老人保健施設におけるインフルエンザ様疾患の状況調査」
（平成28年10月～平成29年5月調査）の概要報告……………30

全老健学術委員会

●老健インタビュー……………34

介護を通じて地域の交流拠点をつくりたい

菅原健介氏 株式会社ぐるんとびー 代表取締役

●全老健の委員会活動 委員長に聞く⑨……………38

学術倫理委員会

平良直樹 学術倫理委員会 委員長

●実践講座 老健施設における人材確保、育成対策……………42

第1回 私が思う、介護人材確保～何本もの矢を打つ～

東 宗樹 介護老人保健施設ケアセンター志賀 介護長



●全老健のマークの意味、正円三つが、老健施設を象徴する色になります。「オレンジ」は、太陽や炎の色で「明るさ」。「グリーン」は、若葉や木の芽の色で「若さ」。「紫」は、古くから貴いとされる色で「質の高さ」を表します。円を取り巻くリボン状のものは「心」を示すハート型になっています。なお、マークのカラーは表紙右下にあります。

●現場からのオピニオン～介護現場はいま～……………48

老健施設はこれからどこに向かうのだろうか

—施設におけるケアの質の評価は変わるか—

宮田澄子 全老健 茨城県支部代議員、介護老人保健施設ごぎょうの里 施設長

●ちょっと拝見老健施設②④……………50

老健施設はリハビリ施設！県内唯一の在宅強化型老健施設として

介護老人保健施設桜の園（秋田県秋田市）

●連載 全国介護老人保健施設大会 演題発表 優秀奨励賞 — 第27回全国介護老人保健施設大会 大阪 —……………54

入浴に伴う肌水分率の変動～温泉水は肌水分率をあげるか～

小川由美子（介護福祉士）／高橋美由紀（介護福祉士）／山川友紀（介護福祉士）／黒沢純子（介護福祉士）／

富樫佐世（看護師）／富田豪（介護福祉士） 介護老人保健施設ラ・フォーレ天童（山形県）

事故を起こしにくい体制づくり 「小さな気づき」を記録したことで得たもの

河合矩彰（介護福祉士）／齋藤 健（介護福祉士） 介護老人保健施設ほなみ荘（山形県）

●私の仕事 私の思い……………58

◇理学療法士（RM） 夢プラスワン（千葉県） 古田 祥 ◇言語聴覚士 アルポース（群馬県） 青木梨恵

◇介護福祉士 大和三山（奈良県） 宮崎健児 ◇看護師 三原の園（長崎県） 新川昌子

◇介護支援専門員 ケアステーションひかり（北海道） 柿本聡史

BOOK REVIEW……………61

●協会の活動……………62～67

芝公園だより……………62

委員会等活動報告……………63

協会正・準会員加入状況……………65

介護報酬改定の財源確保のための署名活動を発表……………66

29年度老人保健施設管理医師総合診療研修会を開催……………67

News Today……………68

●データファイル……………70～91

①第24回社会保障審議会介護給付費分科会介護事業経営調査委員会資料（抜粋）

②第148回社会保障審議会介護給付費分科会資料（抜粋）

③第1回科学的裏付けに基づく介護に係る検討会資料（抜粋）

④第2回科学的裏付けに基づく介護に係る検討会資料（抜粋）

平成29年度全老健研修会スケジュール案内……………92

平成29年12月～平成30年3月開催の実地研修のご案内……………93

第10回読者投稿広場……………94

表紙の写真：2017年7月、恩納村（沖縄県）、アカテンイロウミウシ。
黄色の外殻の内側に白い帯があり、このなかに赤い斑点があるきれいなウミウシです。
実はウミウシは、貝殻が退化した貝の仲間なのです。（三根浩一郎 全老健副会長）